

第41回札幌市PTA広報紙まつり 受賞作

受賞おめでとうございます!

審査委員長の審査講評は、札幌市PTA協議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

予告 第66回 日本PTA 北海道ブロック研究大会
札幌大会

2019年10月12日(土)~13日(日)

「親の実は 子どもの実り」
~家庭・学校・地域のより一層の連携を目指して、学び合ひましょう~

詳しくはホームページをご覧ください。
こちらから

札幌市PTA協議会

第121号3月8日発行

PTA さっぽろ

編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会
ホームページ: <http://sapporo-pta.gr.jp/>
E-mail: shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-10
札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371
印刷:株式会社OK印刷

緑丘 中央区緑丘小学校
オフセットの部
日本教育新聞社賞
最優秀賞

各特集の紙面には、PTAと学校の一体感があふれ、中でも広報部が司会された校長先生と会長さんの対談記事から、そのことが十分読み取れます。また、サマリースクールの児童の活動の紹介に保護者の欄を加えたこと及び今日の関心の高い防災問題や町内会との関係づくりに焦点を当てるとなると、読み手の心に強く響く多彩な内容が高く評価されました。

編集の際には、調査・取材を大切にし、更に全体のレイアウト、色調に創意工夫がなされ、発想の豊かさと熱心さが伝わってくる素晴らしい広報紙です。

北園 東区北園小学校
オフセットの部
毎日新聞社賞
最優秀賞

北海道胆振東部地震の記述が秀逸でした。発生直後の学校の安全確認や、メール連絡、学校が避難所となったことなどを時系列に並べ、貴重な記録になりました。広報紙の主な目的はPTA活動の紹介ですが、地震特集のおかげで読む人をくわっと引きつけたと思います。

今回、初めての審査でしたが、魅力的で甲乙付けがたい作品ばかりでした。無理のない範囲で、編集作業を楽しんでほしいと思います。

あすなる 南区真駒内中学校
オフセットの部
教育長賞
最優秀賞

「Discover」をテーマに、真駒内中を囲む恵まれた自然、PTA活動とその役割を生徒の姿が垣間見える校舎探検、生徒会活動の仕組み等の情報が、限られた紙面に凝縮されています。特に目を引いたのが、豊かな自然に目を向けたDiscover真駒内。校区周辺に生息する動植物が見事な手書きのイラストで紹介され、併せて真駒内の四季も教職員・保護者・生徒の心情も含め、短歌や俳句に詠み表されています。インパクトある表紙も含め、他の雑誌テーマを買って企画がレイアウト巧みに構成されており、調査取材力の高さも際立っています。

真駒内中へお礼の気持ちを込めた珠玉の作品です。

おもいでばけっと 手稲区手稲中央幼稚園
市P協会賞
最優秀賞

まるで幼稚園の日常のような表情豊かな「おもいでばけっと」が表紙の手作り広報紙です。子どもたちの家庭での過ごし方や外での遊び方まで、保護者が安心になる話題についてアンケートを基にまとめあげています。さらに休日の出かけやすさや、SNSサイトまで書かれています。子どもたちのことだけでなく保護者が安心して使えるように、PTA活動を紹介する際は仕事をしている保護者の目線も忘れてはいけません。内容が、手書きで優しさを表現した、パソコンのフォントを工夫し読みやすくすべしと読み手をホッとさせてくれる広報紙です。

日新 中央区日新小学校
チーム日新PTA
オフセットの部
市P協会賞
最優秀賞

子どもたちの夢が満開に咲き誇る表紙のPTA活動そのものを特集とする広報紙です。1学年から6学年までのそれぞれの担当者が各ページを担当し1冊を作り上げ、チーム日新PTAとしての強いつながりが伝わってきます。

PTAだけでなく、学校や地域との関わりについても、しっかりと開かれていきます。たくさん保護者(大人達)が写真とともに伝えられ、PTA活動の参加を身近に感じさせてくれます。編集後記の思いがあるように、まさにPTA活動のパートナーとなる広報紙です。

せいなん 清田区清田南小学校
北海道通信社賞
最優秀賞

表紙に6名の児童が輪になり、その周りを8枚のPTA活動の写真で囲んだのは効果的でした。「もっと知りたいPTA」というテーマで、76号の特集の概要がすぐわかり、表紙を通してPTA活動や学校の温かひが雰囲気や学校の温かひが伝わっています。また、広報紙全体の色調が明るく、統一感があり、大変見やすかったです。広報委員の皆様の意気込みと「取材力」の高さや脱帽です。課題は、表紙写真の加工具合とページ入れの2点かと感じました。

第41回 札幌市PTA広報紙まつり 表彰式

2月18日(月)、ちえりあ6階講堂にて、広報紙まつりの表彰式が行われました。

応募いただいた広報紙の中から、①PTA活動の紹介②積極的な企画性・アイデア③全体の見やすさ・読みやすさのバランスの3つの観点で審査し、札幌市教育委員会、毎日新聞社、日本教育新聞社、北海道通信社、当協議会から、最優秀賞・優秀賞・佳作の28点が選ばれ、表彰されました。

審査委員長の北海道通信社 参与 村上直史様から、「大変魅力的な広報紙ばかりで、どの作品からも「高い取材力」と特集を通した各「PTAの主張」が伝わってきました。北海道胆振東部地震を受けて、予定を変更して学校避難所の救援物資を取材するなど、保護者目線で学校や地域の防災体制を考えるという企画のものもありました。学校と地域を結ぶ橋渡しとしての広報紙の役割は重要です。PTA広報紙は「読みもの」であるということを確認して、会員の要望をもとに、「読み手」を意識した紙面を工夫し、会員ファーストの広報紙作成を願っています。次回も期待しています。」と審査講評をいただきました。

また、受賞校代表挨拶では、真駒内中学校 広報部長 染谷 勉諭様が、「先生と保護者が心から協力し合って、子どもの健全な成長を促すような環境を作っていくために広報紙を作りました。また「読みもの」ということを意識して、読み終わったあとに何かを考えてもらえるような広報紙を作りました。」と述べられました。

広報紙まつりは、毎年この時期に開催されています。来年度もよりたくさんの応募をお待ちしております。

第41回広報紙まつり 受賞校一覧

札幌市PTA協議会 応募総数 99点 オフセットの部 93点 手作りの部 6点

オフセットの部			
賞別	最優秀賞	優秀賞	佳作
教育長賞	南区 真駒内中学校 「あすなる」	豊平区 あやめ野小学校 「はなあやめ」 豊平区 平岸西小学校 「精進川」	豊平区 みどり小学校 「midori」 厚別区 大谷地東小学校 「やちとん」
	東区 北園小学校 「北園」	清田区 清田小学校 「KIYOTA」 豊平区 東山小学校 「ひしがらば」	西区 西陵中学校 「風の色」 豊平区 しらが台小学校 「しらが台」
毎日新聞社賞	中央区 緑丘小学校 「緑丘」	中央区 宮の森中学校 「森友」 清田区 北野台小学校 「スマイルきたのだい」	中央区 藤園小学校 「藤の木」 中央区 向陵中学校 「向陵~つなげていく想い~」
日本教育新聞社賞	中央区 日新小学校 「日新~つなげようチーム日新PTA」	中央区 丸山小学校 「MARUYAMA」 北区 新川中学校 「雲」	北区 百合が原小学校 「ひこうせん」 白石区 幌東中学校 「幌東より」
北海道通信社賞	清田区 清田南小学校 「せいなん」	豊平区 旭小学校 「あさひ」 北区 太平中学校 「太平」	北区 百合が原小学校 「ひこうせん」 白石区 幌東中学校 「幌東より」
市P協会賞	中央区 日新小学校 「日新~つなげようチーム日新PTA」	中央区 丸山小学校 「MARUYAMA」 北区 新川中学校 「雲」	厚別区 青葉小学校 「AOBA」 手稲区 手稲中学校 「手稲」
手作りの部			
賞別	最優秀賞	優秀賞	佳作
市P協会賞	手稲区 手稲中央幼稚園 「おもいでばけっと2018」	中央区 伏見小学校 「こぶし」	東区 開成小学校 「若木(わかぎ)」

報告 平成30年度 国内研修



画図小学校での研修

平成30年度札幌市PTA協議会国内研修団は、11月28日から30日までの2泊3日の日程で熊本市・益城町を研修訪問いたしました。

8月下旬に顔合わせをし、研修先に熊本市を最優先候補にあげた直後、9月6日に北海道胆振東部地震が起きました。今回熊本市への研修はまるで必然だったと思われるように被災地区への研修訪問になりました。学校としてPTAとして、被災時の地域連携や子どもたちのメンタルケアなどを学びたいと強く思い研修に出席しました。

〈画図小学校訪問〉初日にすぐに向かった熊本市立画図小学校は、被災後には通学路の危険点検を行い、子どもたちに日時を知らせない避難訓練を行うなど非常時の子どもたちの行動をよく考えた対策をしていました。各家庭でヘルメットを購入し備えるなど危機管理の徹底と災害時の地域の連携のための取組について知ることができました。

〈力合西小学校訪問〉2日目は、熊本市立力合西小学校のPTAによる防災対策を研修。自己紹介から防災ゲーム(クロスロード)への流れを体験。その時の避難所の状況に対応するために、「自分の答えをどう選ぶか」、「どのように他人へ伝えるのか」を考えさせられるゲームでした。避難所運営において、様々な人の立場に配慮する大切さを学びました。

〈飯野小学校訪問〉最終日には、一番の被災地である益城町の飯野小学校を訪問。未だグラウンド内にある仮設住宅が災害の酷さを物語ります。災害時の生々しい状況とともに、被災から立ち直るために子どもたちが取り組んだこと、地域の人たちを元気づけるために行ったイベントなど学校、地域、PTAが連携する取組などを知り、復興への力強い想いを感じました。

熊本で出会った熊本市PTA協議会の皆様、各訪問先の学校の教職員・PTAの方々との研修内容・被災経験のお話など、どれをとっても今の私たちに必要な内容でした。この研修を通じて学んだこと、子どもたちのためであることを札幌市PTA協議会・各区P連、各単Pへ伝えていかなければならないと思いました。

この国内研修に参加させていただいたことを心より感謝申し上げます、ご報告とさせていただきます(国内研修団 団長 今野 達則)

多くの皆様に支えられて「札幌市PTA協議会創立70周年」をお祝いました



11月17日(土)、ロイトン札幌にて、札幌市PTA協議会創立70周年記念祝賀会を開催いたしました。お忙しい中たくさんのご来賓、また歴代PTA協議会会長様にご出席いただきました。

祝賀会は札幌市PTA協議会会長、ロポッサの会会長の挨拶に始まり、札幌市教育委員会教育長様、札幌市PTA協議会元会長様からご祝辞を頂戴しました。次いで札幌市PTA安全互助会元会長様による乾杯のご発声で、会場はいっせいに祝賀モードに切り替わりました。

会場では～写真で見える創立61年から70年の歩み～と題し、札幌市PTA協議会の10年間をまとめたスライドショーの上映を行いました。

多くの皆様に支えられて、創立70周年記念祝賀会は数え切れない感謝とともに無事終えることができました。

皆様の要望に対する回答をいただきました！
(平成31年度文教施策に関する「要望書」への回答書手交式)

去る、12月18日(火)に札幌市教育委員会教育長室に於いて、平成31年度札幌市文教施策に関する「要望書」への回答書を受け取りました。

教育委員会からは、長谷川教育長、山根教育次長をはじめ関係部長・課長が、市P協からは、土田会長をはじめ、桑原副会長・総務委員長・副委員長が出席しました。

続いて会議室に場所を移して、市P協役員・総務委員全員が参加し、10月に提出しました要望書に対する回答についての意見交換会を行いました。そこでは各委員が各項目について意見を述べることができました。また、それぞれの意見に対して、各担当者から回答をいただくなど、意見交換が深まりました。

最後に、土田会長が「このような意見交換会では、家庭と学校と地域とで子どもを育てるという中では非常に重要な位置にあると思います。子どもたちを思う同じ目線で子どもの教育のために一緒に活動していきたいと思えます。」と挨拶をいたしました。



なお、要望書と回答書につきましては、各校PTAに配付しております。また、札幌市PTA協議会のホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧下さい。

今の時代だから

負けない心 くじけない心をつくる

楽しみながらできる 体育と健康の空手クラブ

清心会は市内70カ所を中心に40年以上活動している北海道最大規模の空手NPO法人です

絆をより深める親子で空手

清心会空手は発育期に局部に無理なく全身運動ができる優れた整理運動です

メンバー募集中!!

清心会空手教室 🔍 検索

園児・小・中学生空手クラブ ※園児3才から



特定非営利活動法人

清心会

お問合せ **300-0048**

(平日 13:00 ~ 16:00)

karate@seishinkan.ne.jp

http://seishinkan.ne.jp

